

# ちばの博物館

<http://www.chiba-web.com/chibahaku/>

発行・編集  
千葉県博物館協会  
〒260-8682  
千葉市中央区青葉町955番地  
千葉県立中央博物館  
TEL.043-265-3111

## “みんなで作る”美術館 —公益財団法人 金谷美術館—



▲外観

当館は、数々の文人や芸術家たちに親しまれてきた鋸山の麓、金谷の地に「美しいもの、大切なものをみんなで伝え遺し、活かしていく美術館」として町おこしの過程で生まれました。金谷ゆかりの資料や、ご寄贈頂いた美術作品を収蔵しています。年4回程度の企画展を開催するほか、講演会やワークショップ等のイベントにも力を入れています。

開館にあたっては、「一口館主」として金谷を愛する皆様から募金を募り、中庭の芝張りは近隣小学校の児童にお手伝い頂きました。

開館6年目となる現在も、運営は皆様の善意と多くのボランティアの方に支えられています。

昨年開催した「金谷美術館コンクール2015」では、県内はもとより全国から作品のご応募がありました。コンクールをきっかけに、当地金谷を初めて訪れる方も多くいらっしゃいます。美術館を通して地域が元気になればこれほど嬉しいことはありません。今後もコンクールは継続的に実施する予定です。

小さな美術館ではありますが、訪れるたびに新たな出会いのある美術館、皆様に愛される美術館としてこれからも励んで参ります。



▲中庭

【開館時間】：10:00～17:00（入館は30分前まで）

【休館日】：毎週水曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始、展示替日

【入館料】：一般800円、65歳以上・中高生500円、小学生200円、小学生未満無料

【お問合せ】：(TEL) 0439-69-8111 (FAX) 0439-69-8444 (MAIL) voice@kanayaart.com

【webサイト】：<http://kanayaart.com/>

【交通】：(電車) JR 浜金谷駅より徒歩5分 (フェリー) 東京湾フェリー 金谷港より徒歩1分  
(車) 富津金谷 IC から3分 / 銀座からアクアライン経由で約50分

も  
く  
じ

- “みんなで作る” 美術館 —公益財団法人 金谷美術館— …… 1
- 2年目に入った博物館資料救済体系の運用 …… 2～3
- 海の駅九十九里 いわし資料館 …… 4

- 平成27年度研修会参加報告 …… 5
- 春から秋の催し(4月～9月) …… 6
- 展覧会案内 …… 7
- 日誌抄・編集後記 …… 8

No. **137**  
2016.3.30

## 2年目に入った博物館資料救済体系の運用

地域振興委員会 千葉県立中央博物館 森田利仁

千葉県博物館協会の博物館資料救済体系（以下「救済システム」）は、地震や津波などの災害で被災した博物館資料を、協会加盟館がみんなで復旧させるための行動指針を定めたものである。平成26年5月の協会総会で承認され、地域振興委員会の下で運用が開始された。システム構築の経緯や概要については、本誌135号ですでに紹介している。またその詳細は、協会ホームページ<sup>1)</sup>で公開しているのでご参照いただきたい。ここでは、実際の運用に当たって気がついた点などを紹介したい。

### 地域の課題を吸い上げるブロック会議

災害の記憶が時とともに薄らいでいくのは、世の常である。東日本大震災の教訓から構築された本救済システムも、放置すれば、構築時の熱気が時とともに冷めていくのは避けられない。平時に何をするのが、とても重要なのである。そのもっとも重要な活動が、災害がなくても災害のことを話し合い、救済システムのことを思い出す場であるブロック会議やブロック代表者会議の開催である<sup>2)</sup>。

本システムでは、協会加盟館をその所在地により10の地域ブロックに分けているが、それぞれのブロック内加盟館が参集して開催するのがブロック会議である。またブロック会議で話し合われた様々な問題や課題を全県的に共有し、救済システムの改善を検討するのがブロック代表者会議である。平成26年9月以降、各地でブロック会議の開催が始まり、平成27年1月に第1回のブロック代表者会議が、救済システム運用のセンター館（県立中央博物館）で開催された。この原稿が掲載される頃には、すべてのブロックで2回目のブロック会議が終了し、同じく2回目のブロック代表者会議が終了しているはずである。

ブロック会議の運営は、基本的にブロック中核館に委ねられている。しかしすべてのブロックに共通する

のは、ブロック内の各加盟館の現況を正しく共有することである。たとえば、人事異動による専門職員の増減、大きなコレクションの受け入れや移管、さらには老朽化した施設や設備の状態など、各館の現況について可能な限り情報を共有し、災害が起きた時に備えるのである。またブロック会議の開催は、ブロック内の加盟館を巡回するのを原則としている。会議を活用し、開催館の施設見学も行い、施設や資料の現況を実際に見て確認し合うためである。さらには、博物館運営上の悩みや裏話などの内部事情も忌憚なく話し合われているようである。これらの雑談は、一見すると時間の無駄と思えるかもしれないが、お互いの信頼関係や親近感を醸成することになり、結局これが救済活動の力の源となると考えている。

- 1) 救済体系の詳細は、  
<http://www.chiba-web.com/chibahaku/kyusai.html>
- 2) ブロック会議の詳細は、<http://blog.goo.ne.jp/chibahaku>

### 各館の個別事情に配慮した救済システムづくり

救済システムは、その当初から、すべての加盟館の個別事情にまで配慮することは困難であった。構築に当たっては、協会加盟館に広く呼び掛け、多くの学芸員に参画してもらったが、やはり個々の事情に合わないところがあるのは、否めない事実である。たとえば、システムでは、各館の資料リストの複製を遠方の他館でも保管することを推奨しているが、現状では、ブロック間の足並みは必ずしも揃っていない。資料リストが電子化されていない、あるいは紙の資料台帳自体が更新されていない館が多数存在すること、あるいは資料情報に対する取扱基準が運営主体によって異なるなどの実情による。

被災館の資料情報が完全に喪失してしまった場合、ガレキの中から資料とそれ以外のモノを選別するのは至難の業である。実際、資料台帳が津波で流されてしまった陸前高田市立博物館では、前館長が自宅に保管していた資料リストの複製だけが、資料探しの唯一の手掛かりであったと聞いている。救済システムが推奨しているのは、各加盟館が被災したときに、最低限「救ってもらいたい」資料の情報であり、登録資料の完全な情報ではない。手掛かりとなるものならば、何でもよいのである。このことが正しく理解されれば、情報共有という作業も、徐々に進んでいくのではないかと期待している。

いずれにしても、加盟館はそれぞれ異なる事情を抱えている。学芸員が一人や二人しかいない小規模館で



平成27年度 印旛ブロック会議

は、日常の業務が忙しく、収蔵庫での保管状況確認すらできない、という事情も明らかになってきている。今後とも各博物館の実情に合った救済システムに、仕上げていく必要があると考えている。



平成 27 年度 東葛飾ブロック会議

**訓練の実施**

昨年3月11日、東日本大震災からちょうど4年目となる日に初めての情報伝達訓練を実施した。有事の際の被害情報を的確かつ速やかに、センター館（県立中央博物館）に集約できる体制を構築するのが目的である。この訓練には、業務の都合であらかじめ参加できないことが確認されていた館を除く、63館が参加した。これは加盟館全77館中、約8割に当たる。

訓練の流れは、図1に示すとおりである。平成27年3月11日午前10時に震度5強の大地震が発生したことを想定し、各館が館内被害状況を調査の上、当該地域のブロック中核館にそれを報告する（図1の1）。中核館は、各館から届いた報告を集約し、センター館にブロック内の被害状況を報告する（図1の2）。ここまでが第一段階である。第二段階は逆に、センター館が全県の被害状況を集約し、ブロック中核館を通して参加加盟館に伝達する（図1の3、4）。そして最後に、全県の被害状況を受領した各館が、ブロック中核館を通しセンター館に完了報告する（図1の5、6）、というものであ

た。結果、業務の関係で訓練中に職員が館内で不在となった1館からの完了報告を除き、開始から約1時間で終了することができた。

なお今回は、報告様式を統一したため、通信手段としてファクシミリを主に用いることとしたが、有事にどこまで機能させられるか不明である。次回以降は、電子メールなど他の手段も活用した訓練を検討していきたいと考えている。

**国や他県の動き**

救済システムの当面の運用では、県内の加盟館のみが関わる救済活動を想定しているが、実際に広域の大規模災害が起きた場合、県外からの応援を求めなければならぬのは明らかである。したがって、国や他県の動きも視野に入れながら、システムを運用していくことは、今後の重要な課題の一つである。システム運用開始後、その方面での活動も少しずつ行ってきたので紹介したい。

平成26年では、国立教育政策研究所社会教育実践センター主催の博物館長研修会、神奈川県博物館協会総会、平成27年では、愛知県博物館協会総会で、当救済システムとその運用を紹介する機会を得た。とくに愛知県博物館協会の総会では、「災害発生時における支援活動実施要領確定版」を新たに設置し、当システム同様、地域の博物館協会が主体となった博物館資料救済活動を展開することが決まったようである。今後、協会どうしの協力関係構築も検討しなければならないと考えている。

また複数の県にまたがった活動例として、九州・山口地域の博物館・美術館による「みんなをまもる文化財みんなをまもるミュージアム事業」がある。九州国立博物館が主体となった文化庁補助事業であり、当協会も協力者として参加している。博物館や美術館の数が少ない県においては、隣接他県と共同で一つのシステムを構築することも必要で、そのモデルケースとなると考える。

最後に、独立行政法人国立文化財機構が実施している「文化財防災ネットワーク推進事業」の存在も紹介する。東日本大震災の経験を踏まえ、平時から全国的なネットワークづくりをめざしている。現在は、機構内の博物館や研究所が主体となっている事業であるが、将来的には全国的なネットワークの構築がある。今後、当協会としても関心をもっていく必要があると考えている。

博物館資料は、後世に残すべき大切な宝であり、それを災害から守るのは我々博物館に働くものの重要な使命である。せっかく構築した救済システムが風化しないよう、今後とも平時の活動の充実を図っていきたいと考えている。

**第1回 被害状況情報伝達訓練 フロー図**

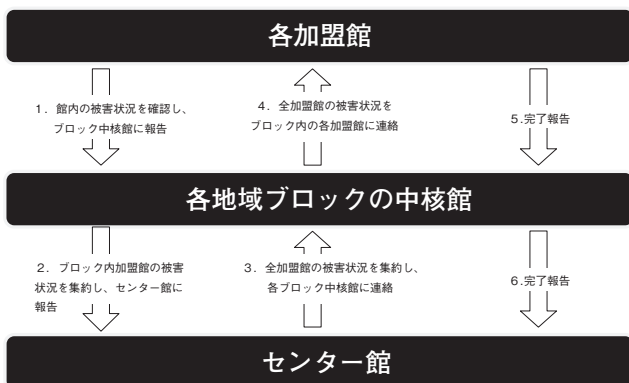


図1 第1回情報伝達訓練フロー図

## 海の駅九十九里 いわし資料館 ～豊漁 賑わい いわし文化の歴史～

九十九里町教育委員会事務局 中村吉徳

九十九里はとても長い浜で豊かな自然環境に恵まれおり、その中央に位置する九十九里町はいわしの町として有名です。そして、都心部に至近という地理的好条件があります。江戸時代から現代までの約400年間にいわしの豊漁期は5回訪れ、九十九里浜はいわし漁で賑わいました。町には、当時いわし漁で使用された漁具や漁網をはじめ、漁民の使用した衣類・日用品等があります。いわし漁で栄えてきた町の歴史を展示するとともに、飽食の時代に、昔から「庶民の魚」とされてきたいわしを食生活面で見直す学習の場として、また漁業の苦しみ、楽しさ、沖で獲れる魚の種類等も紹介することで、小学生、中学生の郷土学習の場の創造、町民のふるさと文化の継承の場の創造、そして観光客への九十九里ブランドの紹介の場として賑わっています。

### 1 いわし資料館設立の経緯・目的

昨今の経済情勢等の影響により、地域の活力が薄れて、地域活性化の取り組みが必要とされてきました。観光立町を掲げるわが町は、「海の駅九十九里」を建設し、観光客の集客を図り、同時に本町における室町時代から続く海との関わりの中なかで育んだ「いわし文化」を後世に伝えていく義務があります。この歴史を継承し、学ぶことで町民の誇りや愛着を醸成していくことが必要です。去る、平成16年7月30日のいわし博物館の爆発事故以来、いわし博物館または、それに相当する施設の早期再建の要望が強くありました。また、「九十九里町総合計画2011～2020」の中での施策において、「九十九里文化の継承」と示されており、そのなかで「いわし博物館」については、食のまちづくりなど、体験交流型観光と結びつけた拠点として活用を研究し「いわし博物館を再建する」と明記されています。「海の駅九十九里」の中での歴史文化展示施設をとおして、歴史・文化などを体験、再発見するとともに、地域と観光来訪者が通年で学べて、楽しめる施設とすることを目的としました。

### 2 海の駅九十九里の中の展示室形態での特質・利点

海の駅九十九里建屋内に、いわしに関する町の文化展示施設（いわし資料館）を整備しましたが、その最終エリアで、パネルによりいわし料理を紹介し、来館者に同施設内にある地元産品販売コーナー、地産地消費体験コーナーへと誘っています。また、館内随所で地域情報を発信し、九十九里文化の継承と誘客を図っています。重視する利用者層は、県内外の観光レジャーで訪れる人々です。

### 3 観光型複合施設

旧いわし博物館は町中央公民館と隣接していました

が、海岸に近い観光施設の海の駅九十九里内のいわし資料館は、教育委員会事務局からは車で5分、約2キロ離れています。資料館管理と併せていわしの水槽の管理もあります。資料館入口にあるいわしの水槽のメンテナンスの内容は、職員がいわしの死骸除去、餌やりを行い、資料館の清掃も含め毎朝の管理に、およそ1時間を要します。展示鑑賞用としての生き物（マイワシ）の管理は365日行わなければならない、大型連休時や年末年始の対応も含め大変です。なお、旧いわし博物館には、当時臨時職員が2名いましたが、資料館は人件費節約のため無人です。旧いわし博物館の展示面積は、およそ380㎡ありましたが、一方資料館は132㎡ですから入口を入った段階ですべてが見渡せます。このことから、人を配置するというものでもありません。ですから、団体さん等から館内ガイドをして欲しいという場合、即時対応が出来ないという難点もあります。

### 4 施設概要

場所 九十九里町小関2347番地98  
名称 海の駅 九十九里 1階 いわし資料館  
資料館面積 132.81㎡

展示主旨 歴史文化の継承と学習の場の創造、漁の歴史を展示し庶民の魚を見直す。

展示概要 いわし漁と共に栄えた当時の町の歴史資料で、大漁の証「万祝」や、船の木造模型及び船大工道具等を展示し、後世まで伝えるとともに、昔から「庶民の魚」とされてきた美味しい「いわし料理」を紹介し、小学生、中学生の郷土学習の場を創造、町民のふるさと文化継承の場として「いわし資料館」を整備。来館者の物販エリアでの購買意欲を喚起するだけでなく、地域文化を効果的に学習できる場を目指しています。

恵みの海の原因風景（漁風景ドキュメンタリー）、九十九里浦の繁栄、九十九里浜の漁法の変遷、漁の道具、漁民の生活文化、いわしの加工 干鰯・鰯粕の製造過程、いわしの肥料と流通、海との共生、いわしの生物学、いわしの食文化



▲万祝と漁船のジオラマ

# 千葉県博物館協会平成27年度研修会参加報告

野田市郷土博物館 柏女弘道

平成27年11月13日（金）、千葉県博物館協会平成27年度研修会が千葉県立美術館で開催された。昨年度の研修会のテーマであった「博物館資料等の写真撮影について」を継承し、写真撮影後のデジタル編集技術を学ぶことを目的に「使える画像データを作るには—Photoshopを中心に—」をテーマとして行われた。講師も昨年度に引き続き、写真家の玉内公一氏を招いた。

近年、学芸員がデザイン・編集作業を行うことが増えてきたことを受け、デザインのプロとしてではなく、仕事として使えるようになることを想定し、参加者の館園から撮影に失敗したデジタル写真を持ち寄ってもらい、それを使って原因や改善方法を学ぶという実践的な内容であった。

まず、「撮影と画像処理の基本」として、デジタルデータにおける色の概念や、画像処理を行うモニターの特徴、デジタルカメラで写真を撮影する際のデータ形式の違いや、それぞれの注意点についてお話いただいた。

ポイントは以下の通り。

- ・デジタルデータに「色」の概念はない。RGBの数値の集まりであり、それが人為的に作られた色空間の国際標準規格である sRGB によって表現されている。
- ・より多彩な色を表現できる AdobeRGB という規格もあるが、世のほとんどのモニターは対応していない（色を表現できない）。通常の事務用パソコンのモニターでは sRGB すら表示できていない。
- ・印刷物は CMYK で表現されるため、出力できる色域はさらに狭い。実物、モニター、印刷物で色に差が出るのはこのため。自ら館のモニターやプリンタの特徴をつかむことで、そのズレを少なくすることができる。
- ・近年は技術が進んでいるため、デジタルカメラで撮影する際も、RAW データではなく JPEG データで撮影するだけできれいな補正がかかる。
- ・資料写真の撮影の際には、RAW データと JPEG データの両方で撮影しておくといよい。

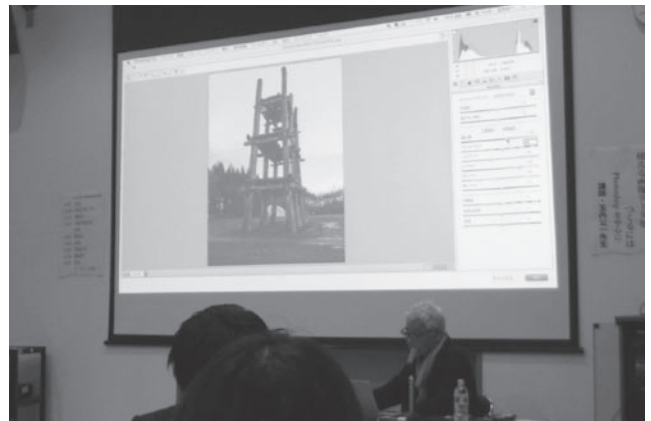
昼食休憩の後、後半は、「画像処理の具体例」として、参加者が持ち寄った撮影に失敗したデジタル写真を使い、逆光補正などの具体的な手順を Photoshop を使いながら説明していただいた。

ポイントは以下の通り。

- ・Photoshop は様々な加工・編集ができるが、時間も

かかるため、撮影の失敗を補うツールとは考えないこと。

- ・まずは自分たちの館の中で、撮影に適した場所を探すこと。理想的な環境を整えるにはお金がかかるが、現状の中でできることを探し、理想に近づけることが大切。
- ・Photoshop は年々進化しており、多機能になっているが、その分、「嘘をつく」機能も増えている。資料の傷なども全く違和感なく取ることができるが、資料写真ではやってはいけない補正である。



▲ Photoshop を使った逆光補正の実演

最後の質疑応答では、資料に写り込んだ影や余分な背景の取り方、モニターの性能が低い場合の対処方法など、様々な質問が寄せられ、テーマに対する関心の高さが感じられた。

こうしたデジタル技術に関わる研修に参加して感じられるのは、その技術の進歩の速さである。そのスピードはまさに日進月歩であり、果たして学芸員を含めた博物館界そのものが、ついていくことができるのであろうかと感じられる。また、予算の関係もあり、最近の機器を導入できる館も限られているであろう。実際に講座内で玉内氏が参加者に聞いた所、講座で使われた最新バージョンの Photoshop を保有している館は決して多くなかった。

しかし、現実として写真の撮影はデジタルカメラが主流となり、学芸員がデザイン・編集作業を行うことが増えている関係上、こうした画像処理の技術も必要不可欠なものになってきている。こうした中で必要とされるのは、最新の機器や技術を視野に入れつつも、その基礎的な考え方や注意点を理解し、自らの館の環境や機器に活用する応用力であろう。その意味においても、基本的なデジタルデータの特徴を踏まえた上で、博物館で起こりがちな実例をもとに進められた本研修は、極めて有意義なものであったと感じられた。

## \* 春から秋の催し (4月~9月) \*

館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日	館園名・行事の種類	行事名	開催期間・期日
●我孫子市鳥の博物館	TEL 04-7185-2212		●千葉県立関宿城博物館	TEL 04-7196-1400	
展覧会	企画展「フクロウさんちの子育て日記」	開催中~6月26日	展覧会	昔のくらし展	4月26日~7月3日
●市原湖畔美術館	TEL 0436-98-1525		展覧会	パネル展「利根川水系に生息する魚たち」	7月5日~9月29日
展覧会	おおたか清流 藤本隆行 くらやみ美術館	開催中~5月8日	展覧会	関宿城写生コンクール作品展	9月13日~25日
展覧会	北京・炎黄芸術館「民間芸術」展(仮称)	5月21日~7月3日	●千葉県立中央博物館	TEL 043-265-3111	
展覧会	開発好明「中二病展」(仮称)	7月16日~9月19日	展覧会	春の展示「石材が語る 火山がつくった日本列島」	開催中~6月5日
●金谷美術館	TEL 0439-69-8111		展覧会	生態園トピックス展「蜂の巣いろいろ」	7月5日~9月4日
展覧会	金谷美術館収蔵品展-新収蔵作品を中心に-(仮称)	開催中~6月26日	展覧会	企画展「驚異の深海生物-新たなる深世界へ-」	7月9日~9月19日
展覧会	千住博版画展(仮称)	7月2日~10月23日	●千葉県立美術館	TEL 043-242-8311	
●鎌ヶ谷市郷土資料館	TEL 047-445-1030		展覧会	アートコレクション(仮称)	4月~5月(未定)
展覧会	企画展「交差するまちへ-鎌ヶ谷交通発達史-」(後期)	開催中~5月22日	講演会・講座等	実技講座「陶芸(基礎)」(仮称)	6月から6回(未定)
●鴨川市郷土資料館	TEL 04-7093-3800		その他イベント等	ワークショップ「県民の日関連ワークショップ」(仮称)	6月15日または近い土曜日(未定)
展覧会	嶺岡の石「蛇紋岩」展	開催中~5月5日	●千葉県立房総のむら	TEL 0476-95-3333	
展覧会	ミニ収蔵展「端午の節句展」	4月~5月	展覧会	里山と林業・農業-里山の暮らし-(仮称)	開催中~6月12日
●木更津市郷土博物館金のすず	TEL 0438-23-0011		その他イベント等	さくらまつり	4月2日~3日
展覧会	なんだコリヤ?形から入る考古学	開催中~6月19日	その他イベント等	春のまつり	5月3日~5日
その他イベント等	博物館でお花見を	4月2日~3日	●千葉市美術館	TEL 043-221-2311	
●君津市立久留里城址資料館	TEL 0439-27-3478		展覧会	生誕140年 吉田博展	4月9日~5月22日
その他イベント等	よろい武者に変身!	5月3日~5日	展覧会	河井寛次郎と榎方志功 日本民藝館所蔵品を中心に	7月6日~8月28日
●航空科学博物館	TEL 0479-78-0557		展覧会	見立ての手法-岡崎和郎のWho's Who	9月7日~10月30日
展覧会	成田空港飛来機展	4月1日~5月29日	●千葉市立郷土博物館	TEL 043-222-8231	
その他イベント等	集まれ! NARITA空港車輛	5月28日・29日	その他イベント等	鎧やむかしの着物の着用体験	4月9日,5月14日,6月11日,7月9日,9月10日(予定)
展覧会	自分でひこうきを作る-自作航空機的设计-(仮称)	8月1日~10月23日	その他イベント等	鎧づくり講座	7月20日~22日
●国立歴史民俗博物館	TEL 043-486-0123 03-5777-8600		その他イベント等	火縄銃演武	8月21日
展覧会	企画展示「万年筆の生活誌-筆記の近代-」	開催中~5月8日	●DIC川村記念美術館	TEL 0120-498-130	
展覧会	くらしの植物苑特別企画「伝統の桜草」	4月12日~5月8日	展覧会	美術は語れる-評論家・中原佑介の眼-	開催中~4月10日
展覧会	企画展示「よみがえれ!シーボルトの日本博物館」	7月12日~9月4日	展覧会	サイトウオンブリーの写真-妻奏のリズム-	4月23日~8月28日
●佐倉市立美術館	TEL 043-485-7851		展覧会	レオナルド・フジタ展(仮称)	9月17日~平成29年1月15日
展覧会	収蔵作品展①	4月2日~5月22日	●野田市郷土博物館	TEL 04-7124-6851	
展覧会	収蔵作品展②	5月28日~7月18日	展覧会	企画展「野田に生きた人々 その生活と文化2016(仮称)」	4月2日~7月4日(予定)
展覧会	ミテ・ハナソウ展	7月23日~8月21日	●ふなばしアンデルセン公園子ども美術館	TEL 047-457-6661	
●山武市歴史民俗資料館	TEL 0475-82-2842		展覧会	第7回アンデルセン公園さがみ展-コンクール作品展示と切り紙の魅力-	開催中~5月8日
展覧会	企画展「二大文学者 信夫と千代」(仮称)	4月2日~9月11日	展覧会	カブって変身!みんな友達(仮称)	5月14日~6月19日
その他イベント等	左千夫茶会 春の宴	5月1日	展覧会	おやゆびひめの小さな大きな森(仮称)	6月25日~7月31日
その他イベント等	夏休み体験講座 火熾し体験	7月20日~8月31日	●平成美術館	TEL 047-473-1210	
●城西国際大学水田美術館	TEL 0475-53-2562		展覧会	江戸時代書画幅展	4月1日~18日
展覧会	新版画 近代の浮世絵	5月10日~6月4日	展覧会	大名時計展	6月1日~20日
展覧会	ホルバートコレクション・JIUコレクションより	5月10日~6月4日	展覧会	茶道具展	7月1日~18日
●白浜海洋美術館	TEL 0470-38-4551		●松戸市立博物館	TEL 047-384-8181	
展覧会	飯田真菜美パステル水彩画展	開催中~5月8日(毎週火・水・木曜日は休館)	展覧会	館蔵資料展「幸田貝塚の世界」	4月26日~6月12日
●市立市川考古博物館	TEL 047-373-2202		展覧会	館蔵資料展「くらしのなかの着物(仮称)」	7月16日~9月4日
展覧会	ホール小企画展「古代の開発と国分寺」(仮称)	6月25日~約1年間	●松山庭園美術館	TEL 0479-79-0091	
展覧会	企画展「おおむかしのおこめづくりをはじめたころ」(仮称)	7月2日~8月21日	展覧会	第13回「猫ねこ展覧会2016」	4月15日~6月26日
その他イベント等	サマーフェスタ	8月20日	展覧会	没後40年「金子周次木版画展」	7月1日~8月28日
●袖ヶ浦市郷土博物館	TEL 0438-63-0811		展覧会	吉江コレクション展-長谷川利行が生きた時代-	9月2日~10月30日
展覧会	企画展「袖ヶ浦の工業 Industries in Sodegaura」	開催中~5月8日	●陸沢町立歴史民俗資料館	TEL 0475-44-0290	
その他イベント等	ミュージアム・フェスティバル	6月4日~5日	展覧会	第13回館蔵名品展企画展「画業立志100周年記念 岡澤長生の故郷帰郷」	開催中~5月29日
展覧会	企画展「カラムシアサ・モメン」	9月17日~11月13日	展覧会	企画展「房総の年中行事」	6月18日~9月11日
●館山市立博物館	TEL 0470-23-5212		その他イベント等	第12回陸沢町伝統芸能発表会	7月9日
展覧会	新収蔵資料展「あたらしい資料のご紹介」	4月23日~6月5日	●茂原市立美術館・郷土資料館	TEL 0475-26-2131	
展覧会	収蔵資料展「装いの用と美」(仮称)	7月16日~9月4日	展覧会	美術収蔵品展「古典美の探求者 林功 日本画展」	開催中~5月18日(4月12日まで会場増設期間)
その他イベント等	歴史体験教室「甲冑を着よう」	毎週日曜日・祝日	●八千代市立郷土博物館	TEL 047-484-9011	
●千葉経済大学地域経済博物館	TEL 043-253-9111		展覧会	第1回企画展「上谷遺跡・栗谷遺跡と丈部墨書土器」	4月27日~6月19日
講演会・講座等	古文書相談室	6月11日	展覧会	第2回企画展「八千代の産業展」(仮称)	7月20日~9月4日
●千葉県立現代産業科学館	TEL 047-379-2000		●和洋女子大学文化資料館	TEL 047-371-2494	
展覧会	展示・運営協力会展示会	8月13日~28日	展覧会	土鈴周遊-土の造形と音色	4月4日~6月18日
その他イベント等	プラネタリウム	未定(8月予定)			
講演会・講座等	科学館わくわく教室	主に土曜日・日曜・休日			

## \* 展覧会案内 \*

**国立歴史民俗博物館**  
**万年筆の生活誌 - 筆記の近代 -**


蒔絵万年筆 (プラチナ)  
国立歴史民俗博物館蔵

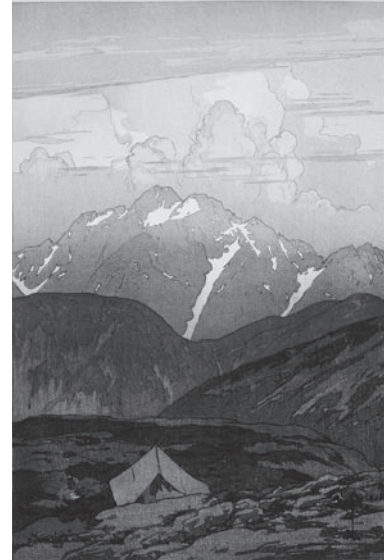
日本における万年筆の歴史をふりかえることは、西洋起源の道具が日本人の生活に根付いていった歴史の一つをつぶさに見ることであり、広くは現代の人間にとって「書く」ことの意味に思いをはせる新鮮な契機ともなるでしょう。

本展は、万年筆が明治時代に海外から日本に輸入され、日本独自の万年筆製作が始まり今日に至るまで、製作に必要な技術の発展やその装飾の技巧の展開、また万年筆を取り巻く文化まで含めて紹介します。

<会 期>開催中～5月8日(日)  
 <休館日>月曜日 (ただし、5月2日(月)は開館)  
 <料 金>一般830円、高校生・大学生450円、中学生以下無料

**千葉市美術館**  
**生誕140年 吉田博展**

「画の鬼」と呼ばれ、水彩で、油彩で、木版画で世界に挑み続けた画人の吉田博の「これが日本人の洋画だ」という答え一。生誕140年を記念した本展は、代表作に初公開の写生帖などをあわせた300点超の作品を紹介する大回顧展です。



《日本アルプス十二題 劔山の朝》木版  
大正15(1926)年 千葉市美術館蔵

<会 期>4月9日(土)～5月22日(日)  
 <休館日>4月25日(月)、5月2日(月)  
 <料 金>一般1,200円、大学生700円、高校生以下無料

**千葉県立中央博物館**  
**驚異の深海生物 - 新たなる深世界へ -**

深海とは水深200mより深い海です。そこは、暗黒、低温、高圧と地上とはまったく異なる世界。そのような過酷と思える環境にも多様な生物が工夫をこらして生きています。この企画展では最新の研究の成果を踏まえ、いまだ未知の世界ともいえる深海にすむ生物を世界中から集めて紹介します。

<会 期>7月9日(土)～9月19日(月)  
 <休館日>9月5日(月)・9月12日(月)  
 <料 金>一般500円、高校生・大学生250円、  
 中学生以下・65歳以上無料



オオグソクムシ

**ぬいぐるみの製造、販売**  
**株式会社 エステー**


可愛い動物のぬいぐるみを数多く、生産、販売しています。  
 オリジナル商品の開発、生産も承ります。

www.auroraworld.jp

虫菌害対策(ガスくん蒸)・生物生息調査・空気環境調査

**文化財保存の**  
**エキスパート**  
**ECC 環境コントロールセンター**

【本社】(環境部・研究開発室・営業部・総務部・経理部・情報管理室)  
 〒260-0806 千葉市中央区宮崎1-22-10  
 TEL 043-265-2261 FAX 043-261-0402  
 URL http://www.e-c-c.co.jp

屋内外広告物全般 企画・製作・施工

ステンレス・アルミ製各種看板・電飾看板  
 道路標識・街路表示板・観光絵看板  
 各種横断幕・懸垂幕・のぼり旗  
 プラスチック製品加工

千葉県屋外広告業登録 第202号

**有限会社 大窪美術工房**

〒262-0002 千葉市花見川区内山町191番地  
 TEL 043(257)1221(代) FAX 043(257)1224  
 E-mail: art-studio.okubo@apost.plala.or.jp

# 日誌抄

## 事務局

### ■第1回役員会

平成27年12月11日(金) 11時~12時  
 会場/千葉県立現代産業科学館  
 内容/平成27年度事業の中間報告

## 研修委員会

### ■研修会

平成27年11月13日(金)  
 会場/千葉県立美術館  
 内容/講演会「使える画像データをつくるには  
 -Photoshopを中心に-」  
 講師:玉内公一氏(写真家)

### ■第3回委員会

平成28年2月26日(金) 14時~  
 会場/千葉県立美術館  
 内容/①今年度研修会の反省について  
 ②次年度研修会について

## 調査研究委員会

### ■第1回視察

平成27年9月30日(水) 14時~15時  
 会場/骨董通り法律事務所  
 内容/①研究報告会主旨説明  
 ②研究報告会講師依頼

### ■研究報告会

平成27年12月11日(金) 13時20分~16時30分  
 会場/千葉県立現代産業科学館  
 内容/講演会・質疑討議「博物館・美術館の危機管理  
 について-あなたの館は大丈夫?~著作権・肖像権・個人情報~」  
 講師:千葉県立中央博物館 副館長 萩原恭一氏  
 :骨董通り法律事務所 弁護士 小林利明氏

### ■第3回委員会

平成28年1月27日(水) 14時30分~17時20分

会場/千葉県立現代産業科学館

内容/①次年度事業計画・予算要求について  
 ②次年度研究報告会について

## 地域振興委員会

### ■各地域ブロックの活動

安房ブロック会議 第1回 7月23日(木) 銚南町立中央公民館  
 第2回 12月17日(木) 白浜海洋美術館  
 安房ブロック内の情報伝達訓練 11月11日(水) 8加盟館園が参加  
 印旛ブロック会議 9月29日(火) 佐倉市立美術館  
 東葛飾ブロック会議 10月22日(木) 我孫子市鳥の博物館  
 君津ブロック会議 12月10日(木) 金谷美術館  
 海匝ブロック会議 1月14日(木) 松山庭園美術館  
 葛南ブロック会議 1月20日(水) 市立市川歴史博物館  
 長生夷隅ブロック会議 2月12日(金) 千葉県立中央博物館大多喜城分館  
 (他のブロックについても、年度内にブロック会議を開催する予定)

### ■ブロック代表者会議(中核館会議)

平成28年2月17日(水) 14時~16時  
 会場/千葉県立中央博物館  
 内容/①27年度の各ブロック活動報告  
 ②情報伝達訓練の課題等について

## 広報委員会

### ■第3回委員会

平成28年2月5日(金) 14時~16時  
 会場/千葉市美術館  
 内容/①『ちばの博物館』137号の編集・入稿  
 ②平成28年度事業計画(案)について

## 編集後記

最近では千葉でも外国のお客様が増えてきたようですが、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、東京都を中心に関東の美術館・博物館の連携の動きが始まっています。多言語化、共通パスポート、バリアフリーの徹底など、今後検討しなければならない課題も挙げられています。一部競技も行われる千葉の「おもてなし」に私たちも何か貢献できるでしょうか。(田辺)

## 印刷物

のことならおまかせください!!

チラシ・ポスター・POP・シール・名刺・封筒・  
 ハガキ・DM・カタログ・パンフレット・伝票etc

有限会社エーワンネットワーク

〒273-0015 船橋市日の出2-2-13 第2ナカイビル102  
 営業時間/9:00~18:00 定休日/日曜・祝日

TEL.047(437)6208



関東港業株式会社  
 KANTO KOGYO Co., Ltd.

Protect Cultural Assets !!

IPM理念に基づいた  
 保存環境の調査~提案・施工まで  
 文化財保存対策なら当社にお任せ下さい

専用くん蒸庫完備  
 (各種薬剤対応)  
 28ml/9ml対応

各種くん蒸施工・環境調査・クリーニング・資料保存用品 ect

〒261-0002  
 千葉市美浜区新港58-2  
 TEL 043-241-1721 FAX 043-241-0080  
 http://www.kan-ko.co.jp

水族館・動物園等の企画/デザイン・設計・施工・管理  
**ONY KOBO CO., LTD.**  
 株式会社 兎工房  
 東京都千代田区神田神保町 2-48  
 〒101-0051 TEL 03-3221-1102 FAX 03-3221-1183